

## テーマ:「やさしい日本語」の可能性 わたしたちができること

A

グループ

### 1 自分たちの生活の中、社会の中で「やさしい日本語」が活用できそうな場面は？

- バイト先での海外の方への接客(韓国人親子にパン屋でコーヒーのサービスを紹介した際に)
- 知識人の日本人から、その分野に精通していない日本人へ
- 外国の方にゴミの出し方をわかりやすく伝える(ゴミ袋に記名式だから転轍が生まれる。現在はルビ付きの案内)
- 小さい子に対して医療用語を簡単にする(「とんぷく」等の、本人が知っておくべき用語を簡単に)
- 接する留学生に対して(「いろり」活動のSDGsについては、専門用語が多いため、簡単な説明が必須)

### 2 明日からわたしたちができることは？

～広めるためにできること～

- 身近な人にまず周知
- 興味がある人に周知(多文化共生に興味がある学部でも、やさしい日本語を知らない人は多い)
- 学校も巻き込んで周知

～使っていく工夫～

- 対面の英語の授業を履修し、留学生と話す(英語を話すより、日本語を練習したい留学生は多い)
- 町で見かけた物をやさしく言い換える方法を日々模索(努力を毎日ベースで行う)

### 3 「やさしい日本語」を広めることで、めざしたい社会

～やさしい日本語を広める意義～

- 言語によって異文化と分かり合う(日本は海外の協力なしでは成り立たない)
- 日本人以外と関わりが必要(製造業等では外国人労働者が多く、孤立している)

～めざしたい社会～

- グローバル化の中でも世代間を超えた繋がりがある日本
- 社会的弱者にやさしい世界



1 自分たちの生活の中、社会の中で「やさしい日本語」が活用できそうな場面は？

- ・アルバイト先などの普段のコミュニティから離れて関わりが少ない人とのコミュニケーションがある場面
- ・小学生とのコミュニケーション
- ・日本に住んでいそうな人に対して
- ・サークル活動においての外国人とのやりとり
- ・パン屋のバイトで外国人へパンについて説明

2 明日からわたしたちができることは？

- ・色々な人にもっとやさしい日本語について知ってもらう
- ・自身の周りの身近な人間(学生なら友達など)
- ・自分自身が認知症の方や小学生とのワークショップなどで使う
- ・看護医療現場などの専門性の高い分野において専門用語をわかりやすく説明する

3 「やさしい日本語」を広めることで、めざしたい社会

- ・やさしい日本語を共通語としてコミュニケーションがとれる社会
- ・やさしい日本語がAEDのように当たり前インフラとして存在する、「やさしい日本語」という言葉が存在しなくなる社会
- ・ハードルの高い異文化コミュニケーションを、やさしい日本語で話かけることでハードルが下がる
- ・やさしい日本語の根幹である思いやりの気持ちを知らないうちに使っている人がいる社会



## テーマ:「やさしい日本語」の可能性 わたしたちができること

C グループ

1 自分たちの生活の中、社会の中で「やさしい日本語」が活用できそうな場面は？

【医療分野】認知症、脳に障害→難しい言葉を理解しにくい患者さん

【教育分野】入試要項に「やさしい日本語」を取り入れることで、日本語が分からない親を持つ外国籍児童のドロップアウトを防ぐ

ex.やさしい日本語と同時通訳を用いた入試説明会@焼津市  
自動車免許の問題に「やさしい日本語」を取り入れる

2 明日からわたしたちができることは？

外国人に対する偏見を少しでも減らしていくこと

若者よりも、外国人にこれまで関わってこなかった上の世代の意識を変えていく必要性  
身近な人【特に親】の意識を変えていく一歩を増やしていくこと

3 「やさしい日本語」を広めることで、めざしたい社会

日本語がわからないことが理由で被る不自由・不利益が無い社会、みんなが平等に自由に活動できる社会

日本に興味を持ってきている人が、日本語母語話者の早口や難しい日本語によって日本語に抵抗を持つことのない社会

やさしい日本語は自分の日本語を見直す鏡になる



1 自分たちの生活の中、社会の中で「やさしい日本語」が活用できそうな場面は？

- ・街の表記(看板、標識) ← 漢字やローマ字だとわからない人もいる
  - ・観光地・トイレのマナーや警告  
Ex富士山付近 ← 日本に興味がある人なので日本語の必要性◎
  - ・病院、カフェ、電車・新幹線の掲示板やアナウンス
  - ・教科書(ランク分けしてやさ日Verもつくる)文字が小さい
- ☆スペース開けてひらがな書く(スラッシュ)

2 明日からわたしたちができることは？

- 駅や観光地、工場で外国人の方見かけることが多い
- ・異文化交流キャンプ等で交流機会を設ける
  - ・ブラジル人学校は日本のものとはカリキュラムが違う(帰国前提)ので変更する
  - ・やさ日に辿り着くまでの支援を行う
  - ・やさ日に拘りすぎず相手に合わせたツールを選ぶ、まずは英語学習

3 「やさしい日本語」を広めることで、めざしたい社会

- ・日本人も外国人も「一緒に生活したい」というマインドを持つ
- ・外国人と日本人の立場が同じ社会
- ・ツールの一つとして「やさしい日本語」をより普及させる
- ・誰もが話せるフレンドリーな社会 → 話せた!という成功体験



## テーマ:「やさしい日本語」の可能性 わたしたちができること

E

グループ

1 自分たちの生活の中、社会の中で「やさしい日本語」が活用できそうな場面は？

- \*観光:外国人の方にやさしい日本語で声をかけて、案内することができる。
- \*学校:留学生と話し合うときに英語ではなく、やさしい日本語で話すことができる。
- \*アルバイト:日本在住の非英語圏出身外国人にやさしい日本語でコミュニケーションする。
- \*行政の手続き、医療現場(病院での説明で日本語の専門用語をやさしい日本語にする)
- \*AI翻訳
- \*地域の日本語教室

2 明日からわたしたちができることは？

- \*SNSなどに発信して、やさしい日本語の認知度を高める。
- \*アルバイト先の接客でやさしい日本語が必要であることを他のスタッフに理解させる。
- \*難しい文書を自分で書き換えてみる練習をし、やさしい日本語が身につくようにする。
- \*日本にマイノリティである外国籍の方々が生住していることを認識して生活する。

3 「やさしい日本語」を広めることで、めざしたい社会

- \*日本人と外国人がお互いに気持ちよく共存できる「学び合う社会」
- \*人種ではなく、個人として相手を認識する社会
- \*「日本は言語の壁が高い国である」というイメージをなくせる社会(日本への流入を促進)
- \*やさしい日本語が当たり前である社会(世代を問わず)。
- \*日本人と外国人がお互いに歩み寄る社会



## テーマ:「やさしい日本語」の可能性 わたしたちができること

F

グループ

### 1 自分たちの生活の中、社会の中で「やさしい日本語」が活用できそうな場面は？

- ・老人ホーム(介護士としての外国人労働者が増えているから)
- ・病院(高齢者と子どもたち)
- ・幼稚園の子どもたち(防犯)
- ★相手が知らない分野について説明する
- ・道案内 ・観光客 ・神社 ・飲食店とホテル
- ★Google翻訳(電車のアナウンス)
- ・留学生

### 2 明日からわたしたちができることは？

- ★頭の中で練習する(難しい単語が出てきたら、やさしい日本語に置き換えてみる)
- ★家族や友達にシェアする
- ・やさしい日本語の認知度を高める
- ・ボランティアで実際に参加してみる
- ・できるだけ横文字を使わない
- ・敢えて英語を使わず、やさしい日本語を使ってみる
- ★塾講師のバイトで小学生に説明するときに、実践してみる

### 3 「やさしい日本語」を広めることで、めざしたい社会

- ・多様性を受け入れる社会(違う文化を受け入れようという考え方) →やさしい日本語を使いつつ、相互の文化を尊重したい
- ・外国の方々が安全に日本で暮らせる社会(災害) →外国人の方だけでなく、みんなが安心して暮らせる社会
- ★みんなが住みやすい・生きやすい社会(高齢者・子どもたち)
- ★言語の壁をなくし、住みやすい社会(外国人) ⇒多様性を受け入れる社会



## 1 自分たちの生活の中、社会の中で「やさしい日本語」が活用できそうな場面は？

- ・外国人、子供がたくさんいる場所（お祭り、駅）、交通整備するような混雑している場所、道案内
- ・学校（海外出身の子、短期留学などで海外からきている外国人の子（簡単な日本語なら理解できる子））
- ・お年寄りが多く来る場所（ドラッグストアなど）話を通じない、耳が遠い方が多いため
- ・保育園・幼稚園など、遊びの説明や注意する時
- ・専門的な説明をする時（スポーツや医療、病院などの分野）

## 2 明日からわたしたちができることは？

- ・略語を使わないようにする
- ・文章を短く切って、簡潔に話す
- ・自動車学校でアルバイト中、ベトナムからの教習生が来るのでわかりやすい説明（言葉だけではなく表情に気をつける・ジェスチャーを使うこと）を心がける
- ・海外から移住してきた小中学生に勉強を教える際に、ジェスチャーややさしい日本語を使う。言葉だけに頼るのでなく、紙に書くなどして工夫する
- ・やさしい日本語に拘らず、一つのツールとして持つ。その時に最も最適な方法を選択する

## 3 「やさしい日本語」を広めることで、めざしたい社会

- ・移住してくる外国人に対して賛否両論あるが、外国人を特別扱いするのではなく、日本語（同じ言語）で話すことで受け入れる側（日本人）にとっても受け入れるハードルが下がる
- ・外国人だけでなく、子供や高齢者も心の負担（ストレスや不安）が減り、生きやすい社会
- ・高齢者の方が増加、病院などで話を通じにくく行きにくいという現状に対して、やさしい日本語を使うことによって誰でも病院・施設に生きやすい社会に
- ・やさしい日本語があることで、やさしい日本語→難しい日本語というように外国人にとってステップが増える。その結果、日本語を学ぶことへのハードルが下がり、日本語を学びやすい社会に
- ・相手を気遣う気持ちが溢れている社会に





## 1 自分たちの生活の中、社会の中で「やさしい日本語」が活用できそうな場面は？

- ・「ゴミを捨てないで」などではなく、「この日はこのゴミを出してください」のように、具体的な指示の時にやさしい日本語が活用できる。
- ・障害を持っている方、言語のマイノリティのある方がいる場面で活用できる。
- ・デジタル化の中で、携帯のやり方などを教える時に使うこともできる。
- ・観光地で日本のルールなどを教える時に活用できる。
- ・外国の方が多くホテルなどでやさしい日本語を活用できる。
- ・選挙の情報などをやさしい日本語に書き換え、選挙権のない外国人でも情報がわかるようにする。
- ・掲示板での日本語をやさしい日本語に書き換える。

## 2 明日からわたしたちができることは？

- ・やさしい日本語の使い方を同じバイト先の社員やアルバイトの方に教える。
  - ・普段から「ハサミの法則」を意識してコミュニケーションをとる。
  - ・アルバイト先で意識を持ってやさしい日本語を使う。
  - ・非言語コミュニケーションを大事にしてコミュニケーションする。
- ex)外国人の方がわからない顔や動作をした時にはよりやさしい日本語を使う。
- ・相手の立場に立って考えながらコミュニケーションをとる。
  - ・普段からやさしい日本語の書き換えの練習をする。

## 3 「やさしい日本語」を広めることで、めざしたい社会

- ・誰でも暮らしやすい街
- ・情報が届かない人がいなくなる社会
- ・特別扱いするのではなく、同じ構成員として暮らしていけるような社会
- ・全ての人が活躍できるような社会
- ・精神的豊かさを全員が持てるような社会





## テーマ:「やさしい日本語」の可能性 わたしたちができること

I

グループ

### 1 自分たちの生活の中、社会の中で「やさしい日本語」が活用できそうな場面は？

- ・お店:コンビニ、スーパー(袋必要か、ポイントカードの有無等)
- ・医療現場:特に症状を表現する際に用いられるオノマトペは外国人にとって難しい
- ・駅の案内や看板
- ・市役所での会話
- ・居住ルール:自転車のとめ方、ゴミの出し方(何曜日に出せるのか、燃えるごみとは)
- ・アルバイト:外国人のお客様や同僚とのコミュニケーション

### 2 明日からわたしたちができることは？

- ・どこからがやさしい日本語かわからない⇒実際に海外の人と話してみる  
やさしい日本語を用いた会話を通じて相手のレベル感を掴み、様々な言い換え方を習得
- ・インターネットで調べて勉強
- ・方言等を標準語に戻して全員に伝わりやすいように意識する
- ・ゆっくり話すことを意識
- ・オンラインの交流イベントに参加してみる(ハードルが低く手間もかかりにくい)
- ・アルバイト先でやさしい日本語とジェスチャーを織り交ぜて会話
- ・分かりにくいイントネーションの違いに注意し、文末を工夫してみる  
例) 疑問形 △「袋は必要？」←口語の場合、疑問形だと分からないことも ○「袋は必要ですか？」

### 3 「やさしい日本語」を広めることで、めざしたい社会

- ・アルバイト先で外国人のお客さんも利用しやすいように
- ・病院 症状を説明できないし説明されても分からないから行けない ⇒全ての人にとって医療へのアクセスをより簡単に
- ・一体化する社会:やさしい日本語を通じて日本人と外国人だけではなく、母語の異なる外国人同士も繋がれるような社会



1 自分たちの生活の中、社会の中で「やさしい日本語」が活用できそうな場面は？

- ・専門用語をつかうのではなく、万人が分かりやすい表現をする  
(医療用語や公文書を分かりやすい表現にする。)
- ・認知症や子ども、障がいを持つ方に指示(伝達)する時
- ・外国人の方が難しい日本語を分かっていないとき

2 明日からわたしたちができることは？

- ・簡潔に伝えることを意識する
- ・相手の理解に合わせて会話をする
- ・相手に歩み寄る(配慮する)気持ちを持つ

3 「やさしい日本語」を広めることで、めざしたい社会

- ・臨機応変な社会
- ・外国人と日本人が良い関係で共生できる社会
- ・万人にやさしい社会

